



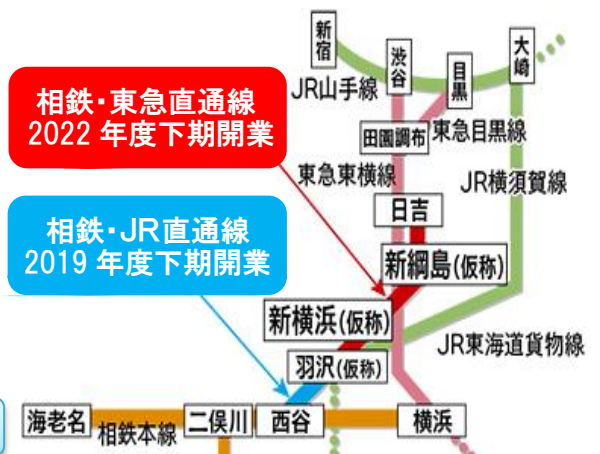
連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (こがゆ康弘事務所) ホームページは [こがゆ](http://www.kogayu.net) 検索
 TEL/FAX: 045-366-9381 メール: info@kogayu.net <http://www.kogayu.net>

「神奈川東部方面線」の開業時期が再度延期に!

「神奈川東部方面線」事業は、相鉄線の西谷駅から羽沢駅付近でJR東海道貨物線へ乗り入れる「相鉄・JR直通線」と、羽沢駅付近から新横浜を経由し、日吉駅で東急東横線と接続する「相鉄・東急直通線」の2つの路線を整備するもので、現在、西谷駅や羽沢駅付近で工事が進められています。本事業は整備主体である鉄道・運輸機構が2013年4月に相鉄・JR直通線の開業時期を3年遅らせ、2018年度内としていました。しかしこの度、下記の通り開業時期が再延期されることとなり、利便性向上を期待していた旭区住民の落胆もさることながら、二俣川駅南口など既に事業が進んでいる沿線地域の再開発計画にも大きな影響を及ぼす可能性があります。また、建設費の増大により横浜市の負担する額も大幅に増加し、市の財政への影響も懸念されています。今後は整備主体に対して延期理由などの十分な説明を求めるとともに、工期短縮とコスト削減に向けた最大限の努力を要請していきます。

相鉄直通線開業予定時期 再延期の内容

- ①相鉄・JR直通線: 2018年度内 ⇒ 2019年度下期
- ②相鉄・東急直通線: 2019年4月 ⇒ 2022年度下期



建設費の増と横浜市の負担額

- ①全体事業費: 約2,739億円 ⇒ 約4,022億円
- ②横浜市の負担: 609億円 ⇒ 894億円 (285億円増)
 (横浜市は都市鉄道等利便増進法により総事業費の2/9を負担することとなっています。)

延期・建設費増の原因(鉄道・運輸機構等発表)

- ①相鉄・JR直通線: 本線にかかる用地取得が難航したことや、安全対策設備の検討に時間を要した
- ②相鉄・東急直通線: 本線にかかる用地取得が難航したことや、調査の結果、当初想定よりも地質が軟弱で補助工法が必要になった
- ③建設費増の理由: 昨今の建設需要増大を背景とした建設物価の高騰、土壌汚染対策法の変更をはじめとする法令等の改正、地質調査の結果を踏まえた工法変更等による

小児医療費の通院助成が小学6年生までに拡大!

横浜市議会の平成28年度第3回定例会において、子どもが病気やケガで通院した場合の医療費の助成制度が拡充されることとなりました。対象年齢が「小学3年生まで」から「小学6年生まで」に拡大し、新たに対象となる小学4年生から6年生までの小児については、現行の本人負担「3割」(平均で約1,500円/回)が、通院1回の上限額「500円まで」となり、医療費負担が軽減します。(500円未満の場合はその額まで) また、保護者の市民税が非課税の場合は無料となります。

(この条例改正は平成29年4月1日から施行されます。)

こがゆ康弘は「民進党横浜市議員団」の政調会長として、一貫してこの小児医療費助成枠の拡大を要望してきました。今後も子育て家庭の経済的負担軽減のため、「500円まで」とした一部負担金の解消や所得制限の緩和、更なる対象年齢の引き上げを要請していきます。

対象診療	0歳-小3	小4,5,6	中1-中3
通院	無料	通院1回 500円まで	3割負担 (従来通り)
入院	無料	無料	無料 (後日払戻し 申請必要)

「平成 29 年度予算要望・提言書」を市長に提出しました!

こがゆ康弘は、団の政調会長として横浜市の平成29年度予算編成に対する要望、さらには今後取り組むべき諸課題に対する政策提言を取りまとめ、市議団の「平成29年度予算要望・提言書」として、9月16日に林 文子 横浜市長に提出しました。


今回の予算要望・提言書では、こがゆ康弘が旭区内の各地域を訪問した際に区民の皆様から寄せられたご意見や各種団体からのヒアリングをもとに、効率的・効果的な予算配分、高齢者福祉や子育て世代への支援強化、都心臨海部の活性化や防災・減災対策の一層の充実強化、郊外住宅地の再生などの重要かつ緊急な施策の実現に向けて、各局と各区あての要望としてまとめています。



合計409項目にも及ぶ要望事項の中でも、特に重点項目として、

- ①施策の推進と財政健全化の両立 ②保育士・介護士不足解消に向けた取組 ③空き家対策の推進 ④米軍施設返還跡地の利用促進 等の9項目を強く要望しました。



関連部局・旭区	主な要望・提言事項
こども青少年局関連	子どもの貧困対策について、関係機関との連携で実態把握と支援の強化に努めること 保育所待機児童対策は、施設の整備とともに中期的視点から保育の質の向上を図ること
健康福祉局関連	超高齢化により増加している孤独死と認知症患者の対策を急ぐとともに、生活保護受給者、女性、若年無業者の雇用支援策や非正規雇用の正規化に向けて積極的に取り組むこと
市民局関連	東京オリ・パラ対応事業は、内容・費用・効果や施設の後利用などを明らかにすること
都市整備局関連	市営地下鉄3号線の延伸(あざみ野-新百合ヶ丘)について早期実現を目指し取り組むこと 高齢化等で衰退の著しい郊外部の住宅地について、魅力ある街づくりの方向を示すこと
総務局関連	新市庁舎の整備については、市民目線で更なる精査と徹底したコストダウンを図ること 外郭団体・関係団体への監査の厳格化とそれに必要な監査体制の一層の充実を図ること
教育委員会関連	特別教室(家庭科室や図工室など)への空調設備の設置は計画を前倒して早期に全校整備すること。 中学校昼食については注文方法の簡素化など喫食率向上の施策を講じること
旭区への要望 	鶴ヶ峰駅周辺の連続立体交差化について、早期実現に向けて関係機関に働きかけること 区内の管理不全な空き家・空き地について、特定空家の指定も含め早急に対処すること 横浜環状鉄道のうち、中山~二俣川間の先行整備に向けて調査検討を進めること など

こがゆ康弘が実際に食して語る・・・ 実食! 「あさひの逸品」 ぱーと③

こがゆ康弘は区で認定された「あさひの逸品」を実際に食べ、シリーズでレポートします。第3弾は、二俣川「大龍飯店」の「食べるラー油」です。

ガチ丼銀賞受賞の名店はランチメニューも豊富な人気店! 様々な具材の入ったラー油はご飯にかけるだけでごちそうに! 何にでも合いますヨ!

☎045-391-1901



「ごみ屋敷」対策条例が成立! 福祉的支援を基本としつつ強制撤去も視野に!

いわゆる「ごみ屋敷」は旭区にも多く存在し、近隣の生活環境に悪影響を及ぼしています。そこで行政が当事者に寄り添い、福祉的視点でごみの排出支援等を行います。解消が困難な場合は指導・勧告・命令・代執行(撤去)を行うことができます。
＜施行日は12月1日です＞



横浜市議員 (旭区選出) こがゆ康弘 プロフィール



横浜市議員 (旭区選出)

やすひろ
こがゆ康弘

プロフィール

昭和42年鶴見区生まれ。
早稲田大学大学院卒業後13年間の民間企業勤務を経て、横浜市議員に。2006年初当選(現在4期目)

【2016年度】
常任委員会：こども青少年・教育委員会
特別委員会：観光創造都市・国際戦略特別委 (副委員長)
神奈川県後期高齢者医療広域連合議員

連絡先：〒241-0821 旭区二俣川1-5 (事務所)
TEL/FAX：045-366-9381
メール：info@kogayu.net
http://www.kogayu.net

小さなことでも気軽に
ご相談下さい!
“地域の声”が活動の源です!



facebook

FACE BOOK のウェブから「こがゆ康弘」で検索

こがゆ 検索